



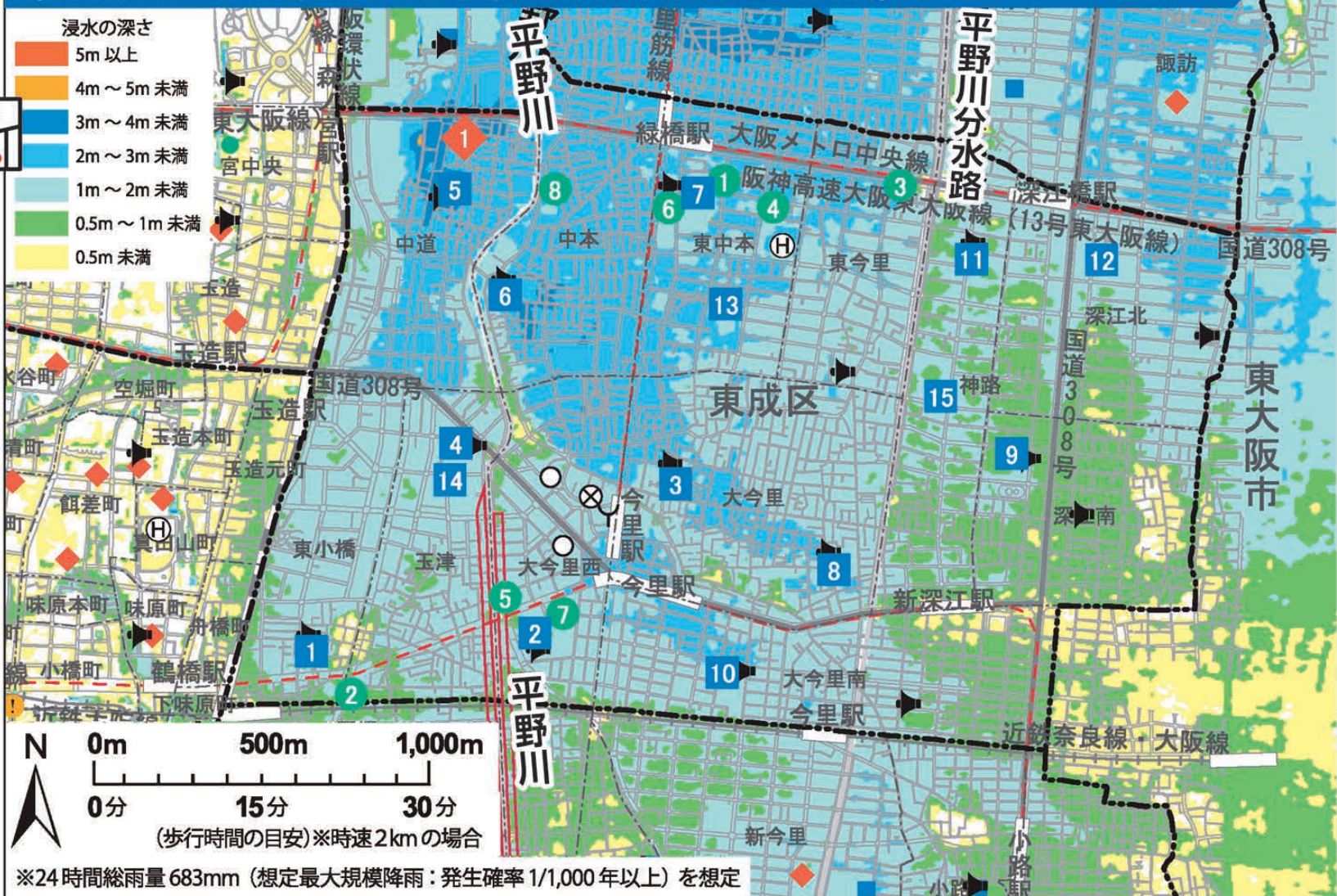
東成区水害ハザードマップ

大阪市は、市街地の9割までが平坦な低地で自然排水が困難な浸水しやすい地形となっています。これまで浸水被害に見舞われなかった地域についても、下水道の能力以上の局所的な豪雨による浸水のリスクがあります。

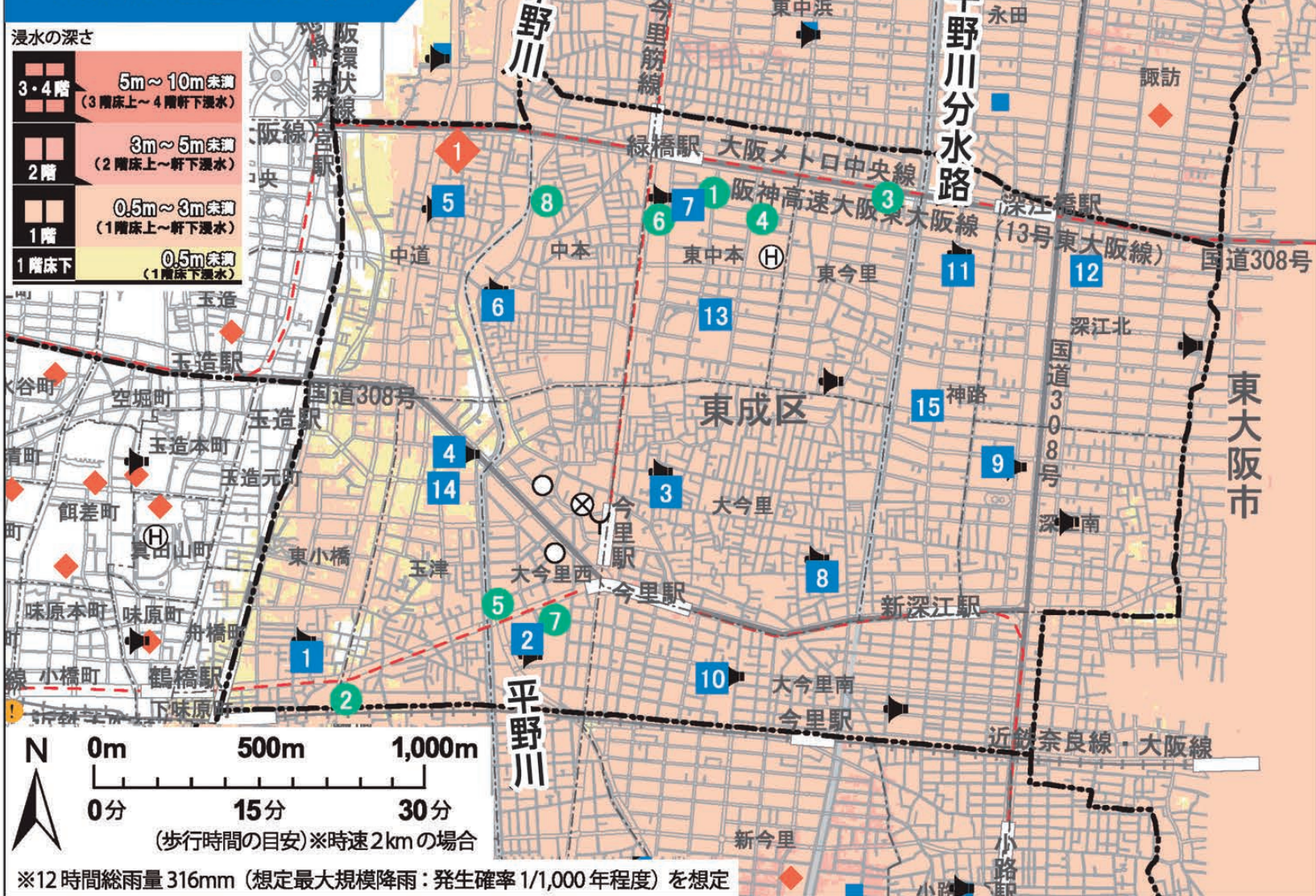
多言語版は
こちら



寝屋川流域の河川(寝屋川・第二寝屋川・平野川・平野川分水路・古川)が氾濫した場合
(この浸水想定区域図は、河川氾濫と内水氾濫を合わせたものです。)



大和川が氾濫した場合



河川氾濫

長時間雨が激しく降ると、河川の増水により堤防が壊れたり堤防から水が溢れ出し浸水します。
(東成区では、淀川による河川氾濫は想定されていません。)



昭和57年7月大雨による水害(東成区内)

内水氾濫

水路や下水道の排水能力を超える大雨が降ったり、河川の水位上昇により十分に排水できなくなると、雨水が溢れ、住宅地や道路などが冠水します。

